

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道30号 児島・玉野拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：岡山県岡山市南区当新田 至：岡山県玉野市田井				延長	15.0km
事業概要						
一般国道30号は、岡山県岡山市から玉野市を経由し、瀬戸内海を渡り香川県高松市に至る延長約26.4km（陸上部）の主要な幹線道路である。 児島・玉野拡幅は、一般国道30号の交通混雑の緩和および交通安全の確保を目的として計画された、岡山市当新田～玉野市田井に至る延長15.0kmの4車線の現道拡幅事業である。						
S45年度事業化		S50年度都市計画決定		S45年度用地着手		S58年度工事着手
全体事業費		約357億円		事業進捗率 (H21年度末現在)		97% 供用済延長 14.3km
計画交通量		16,500 ～50,900 台/日				
費用対効果 分析結果		B/C (3便益) (事業全体) 1.1 (残事業) 2.2		総費用 (残事業)/(事業全体) 8.1 / 731 億円 (事業費 : 6.1/681億円 維持管理費 : 1.9/ 50億円)		総便益 (残事業)/(事業全体) 18 / 831 億円 (走行時間短縮便益 : 16 / 733億円 走行費用減少便益 : 1.2/ 53億円 交通事故減少便益 : 0.7/ 44億円)
基準年		平成22年				
感度分析の結果						
残事業について感度分析を実施						
交通量変動 : B/C= 2.5 (交通量+10%) B/C= 2.0 (交通量-10%)						
事業費変動 : B/C= 2.0 (事業費+10%) B/C= 2.4 (事業費-10%)						
事業期間変動 : B/C= 2.2 (事業期間+20%) B/C= 2.2 (事業期間-20%)						
事業の効果等						
①円滑なモビリティの確保						
・ 損失時間の削減が見込まれる (26,245千人・時間/年⇒25,113千人・時間/年 約4.3%削減)						
・ 現道における混雑時旅行速度の改善 (11.1km/h⇒29.5km/h)						
・ 利便性の向上が期待できるバス路線が存在 (当新田を通過するバス 上り : 158便/日 下り : 152便/日)						
・ 玉野市から岡山駅 (新幹線駅) へのアクセスが向上 (玉野市役所～岡山駅 : 71分⇒68分)						
・ 玉野市から岡山空港 (第三種空港) へのアクセスが向上 (玉野市役所～岡山空港 : 110分⇒107分)						
②物流効率化の支援						
・ 岡山市方面から宇野港 (重要港湾) へのアクセスが向上 (岡山市役所～宇野港 : 70分⇒67分)						
③都市の再生						
・ 中心市街地内で行う事業 (DID区域内)						
④国土・地域ネットワークの構築						
・ 隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡 (玉野市役所～岡山市役所 : 68分⇒65分)						
・ 日常活動圏の中心都市へのアクセスが向上 (岡山市灘崎町 (南区役所) ～岡山市役所 : 62分⇒59分)						
⑤個性ある地域の形成						
・ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する (宇野港再開発事業)						
・ 主要な観光地へのアクセスが向上 (玉野・渋川への入込み観光客数 (H21) : 213万人/年)						
⑥安全で安心できるくらしの確保						
・ 三次医療施設へのアクセスが向上 (玉野市役所～岡山赤十字病院 : 53分⇒50分)						
⑦安全な生活環境の確保						
・ 死傷事故件数の削減 (4,047件/年⇒4,040件/年 約0.2%削減)						
⑧災害への備え						
・ 第1次緊急輸送道路に指定						
⑨地球環境の保全						
・ CO2排出削減量が約4.2千t/年 (約0.2%) 削減 (1,922千t/年⇒1,917千t/年)						
⑩生活環境の改善・保全						
・ NOX排出量が約20.4t/年 (約0.3%) 削減 (7,815t/年⇒7,795t/年)						
・ SPM排出量が約1.8t/年 (約0.3%) 削減 (665t/年⇒663t/年)						
⑪環境への影響を考慮した結果						
・ 約4.2千t/年のCO2削減【2.3億円※】						
※は、供用後50年間の便益額として試算した値 (参考値)						

関係する地方公共団体等の意見

本道路の整備により、岡山都市圏と玉野圏域との連携・アクセスが強化されるため、関係する市（岡山市、玉野市）の首長で構成される国道30号整備促進期成会（H17.8.5）等より強く要望されている。

岡山県知事の意見：

一般国道30号 児島・玉野拡幅について、継続するとの対応方針（原案）案については異存ありません。
県都岡山市と港湾拠点である宇野港を有する玉野市の連携・アクセス強化、広域交流や地域活性化を図るためにも、本事業の早期完成が必要である。

岡山市長の意見：

一般国道30号 児島・玉野拡幅の再評価に係る対応方針（原案）案については異議ありません。
なお、当該路線が整備されることにより、港湾拠点と岡山都市圏との連携・アクセス強化、広域交流が促進され、地域の活性化に大きく寄与するものと期待しておりますので、計画通り平成24年度の事業完了に向けて整備促進が図られるよう要望します。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

全線4車線化されたが、周辺開発等により岡山市当新田地区周辺は朝夕ピーク時に交通混雑の発生や、交通事故が多発している等、円滑な経済活動や物流活動に支障をきたしている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成21年度末で用地買収については98%完了している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、残り約2年で完了予定である。

施設の構造や工法の変更等

耐候性鋼材を使用し、維持管理コストの縮減を図っている。

【約0.4億円の減少】

対応方針（原案） 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

こ じ ま た ま の
一般国道30号 児島・玉野拡幅
事業再評価

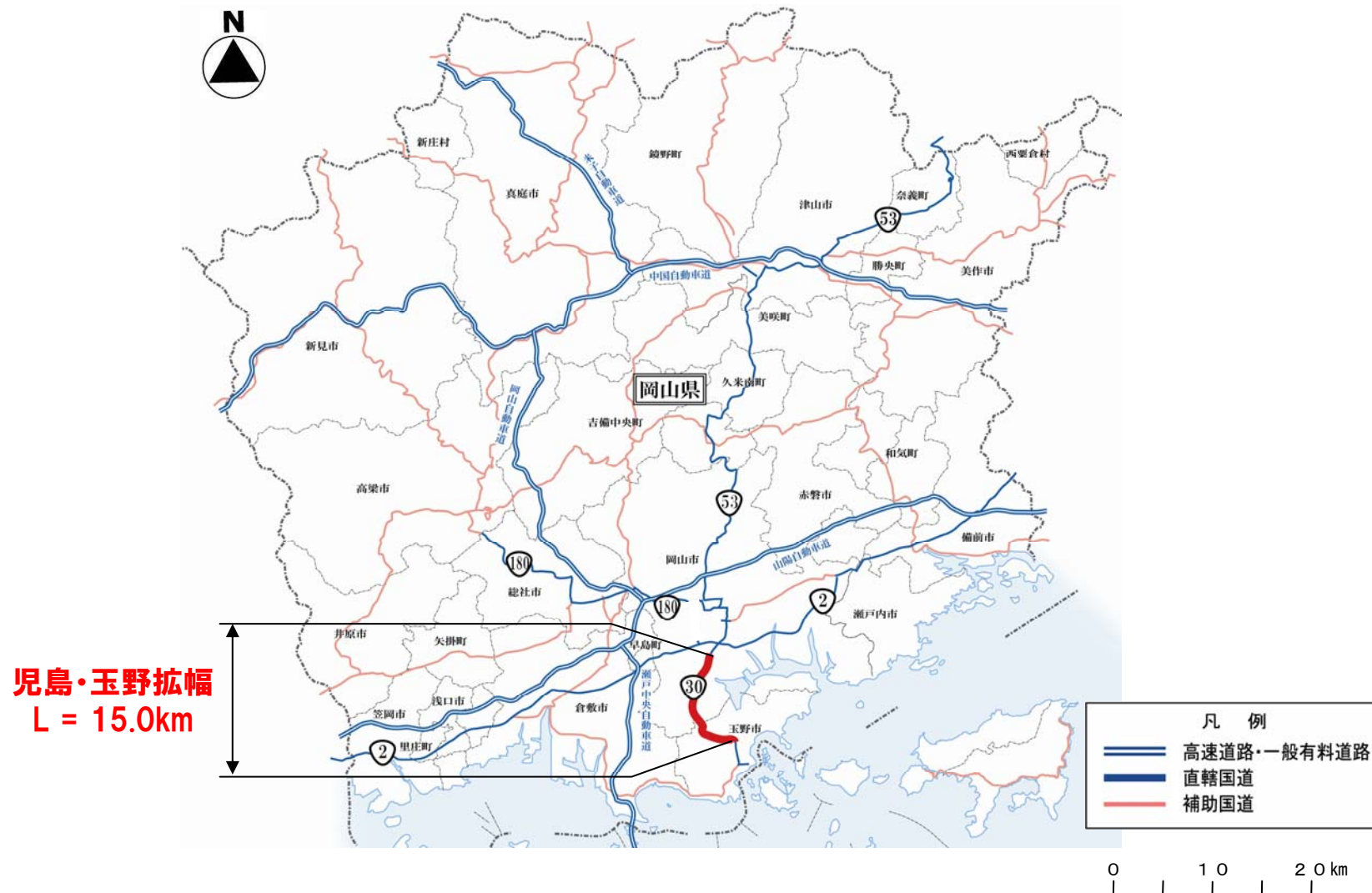
平成22年10月

国土交通省 中国地方整備局

1. 位置図

一般国道30号 児島・玉野拡幅

- ・一般国道30号は、岡山県岡山市から香川県高松市に至る延長約26.4km(陸上部)の主要幹線道路である。
- ・児島・玉野拡幅は、岡山県岡山市及び岡山県玉野市に位置する延長15.0kmの4車線の現道拡幅事業である。



2. 事業概要及び経緯

一般国道30号 児島・玉野拡幅

(1) 事業概要

・児島・玉野拡幅は、一般国道30号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を図るとともに、港湾拠点と岡山都市圏の連携・アクセス強化、広域交流の促進により地域活性化を図ることを目的としている。

計画概要

起 終 点	おかやまけんおかやましみなみくとうしんでん 起点：岡山県岡山市南区当新田 おかやまけんたまのした 終点：岡山県玉野市田井
計 画 延 長	L=15.0km
道 路 規 格	第3種第2級（第4種第1級）
設 計 速 度	60km/h（50km/h）
車 線 数	4車線

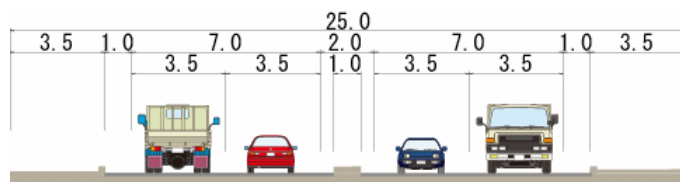
※():当新田区間

詳細図

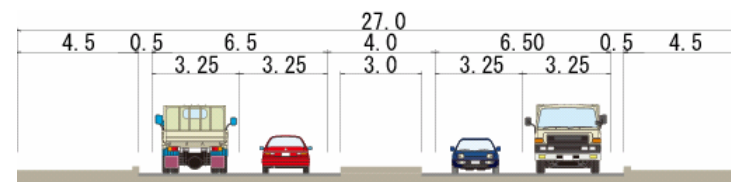


標準断面図

▼標準断面図



▼標準断面図(市街地部)



(2) 事業経緯

一般国道30号 児島・玉野拡幅

- ・昭和45年度に事業着手し、平成17年度に4車線化区間の14.3kmが供用し、事業区間の9割以上が整備済みである。
- ・残る0.7kmの岡山市当新田地区拡幅工事は、平成18年度より用地買収を進めており、残り約2年で完了予定である。

◆事業の進捗状況 (平成21年度末)

用地	98%
工事	97%
全体	97%

※完成事業費に対する割合



事業 年 度	区 間	玉野市				岡山市							
		供用済区間											区間12 当新田地区 (0.7km)
		区間① 深山地内 (0.6km)	区間② 深山地内 (1.0km)	区間③ 槌ヶ原地内 (1.8km)	区間④ 東高崎～槌ヶ 原地区 (1.2km)	区間⑤ 宮川橋付近 (1.9km)	区間⑥ 倉敷川地区 (0.9km)	区間⑦ 藤田都地内 (2.6km)	区間⑧ 妹尾川地区 (0.5km)	区間⑨ 藤田錦地内 (1.2km)	区間⑩ 藤田錦地内 (2.0km)	区間⑪ 藤田錦地内 (0.6km)	
昭和45年	事業着手												
昭和49年	用地着手				用地着手								
昭和50年	都市計画決定（昭和50年9月23日）												
昭和58年	工事着手												
昭和63年	供用				供用								
平成元年	供用(0.27km)				供用								
平成2年	供用(0.33km)				供用(1.6km)								
平成3年	都市計画変更（平成8年1 2月3日）												
平成4年	供用				供用								
平成5年	供用				供用								
平成6年	供用				供用								
平成8年	供用				供用								
平成9年	供用				供用								
平成11年	供用				供用								
平成13年	供用				供用								
平成15年	供用				供用								
平成17年	供用				供用								
平成18年	供用				供用								
平成19年	中国地方整備局事業評価監視委員会が再評価を実施												

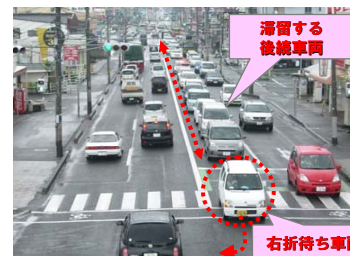
2. 事業概要及び経緯

(3)岡山市当新田地区の事業概要

- ・岡山市当新田地区は、児島・玉野拡幅15.0kmの中で唯一改良済みとなっていない延長約0.7kmの4車線区間である。
- ・岡山市当新田地区は、交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的として整備する拡幅事業(車道幅員と歩道幅員の拡幅、右折車線の設置)である。

一般国道30号 児島・玉野拡幅

全体図



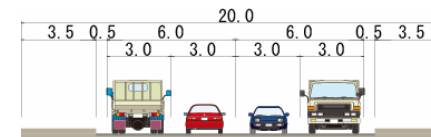
右折待ち車両が後続直進車の進行を阻害
(当新田交差点より岡山市街地方面を望む)



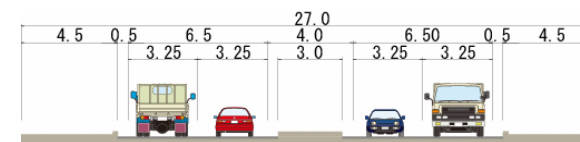
バスが後続直進車の進行を阻害
(当新田交差点より岡山市街地方面を望む)

標準断面図

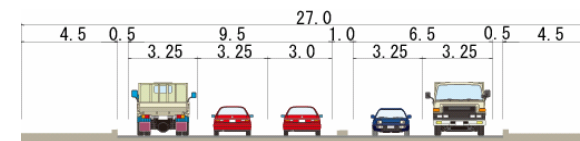
◆現況



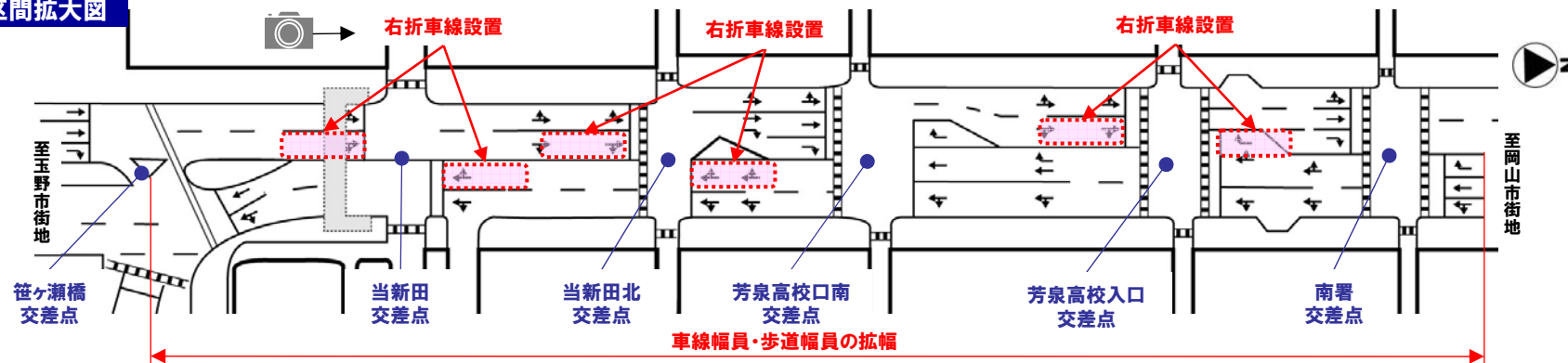
◆計画(標準部)

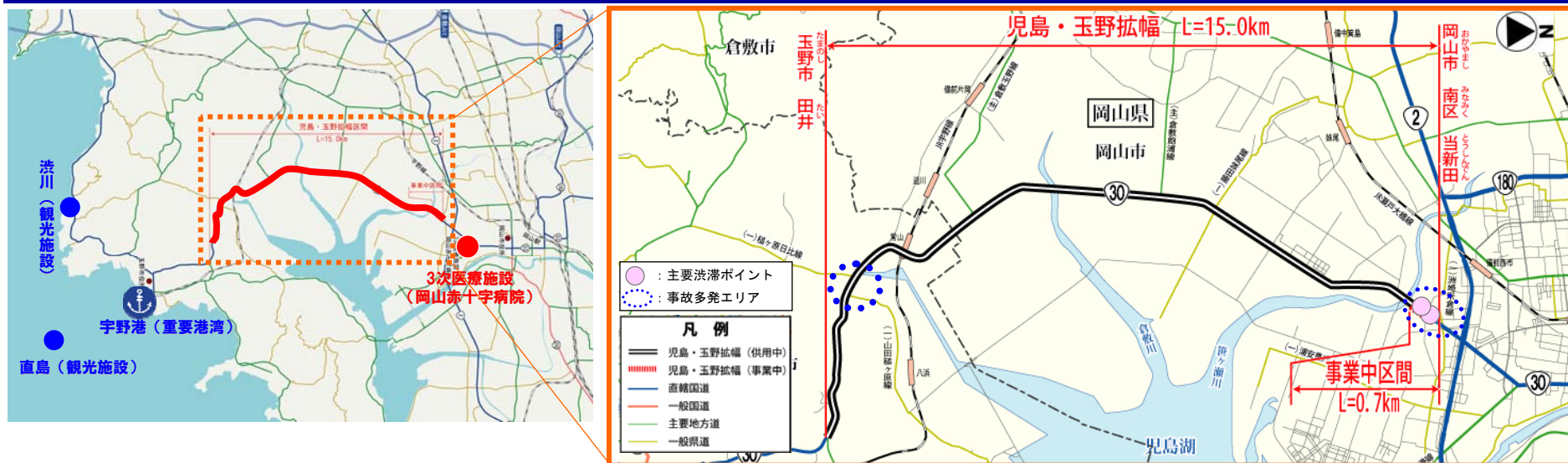


◆計画(交差点部)



事業中区間拡大図





課題①：国道30号で発生する渋滞

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒ 損失時間の削減、沿道環境の改善

課題②：岡山市当新田地区で多発する交通事故

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒ 交通事故率の削減

課題③:通勤・通学のアクセス向上

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒ 玉野・岡山間の通勤通学時のアクセス向上

課題④：観光活性化・物流活動の支援による地域振興

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒ 地域観光の活性化支援
⇒ 混雑緩和による円滑な物流活動の支援

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

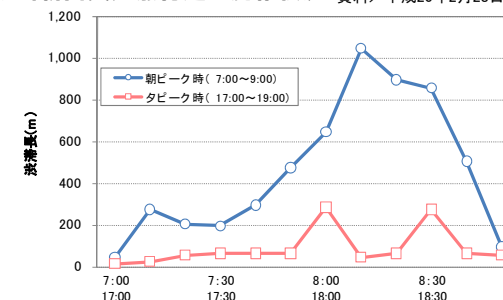
一般国道30号 児島・玉野拡幅

課題① 国道30号で発生する渋滞

- 岡山市藤田都付近、藤田錦付近は、4車線化により混雑度が減少したが、交通量は増加傾向にある。一方、事業中区間の岡山市当新田付近は、依然として約450百台/日と交通量が多く、混雑度も1.66と高い。
- 当新田地区では右折車線が未設置であるため、右折車により直進交通が阻害され、朝ピーク時間帯に最大1,050mの渋滞が発生し、通過時間8分が観測されている。



◆当新田交差点付近の混雑状況 資料/平成20年2月28日(木)調査



【写真①】

当新田交差点から玉野方面を望む
(下り車線)

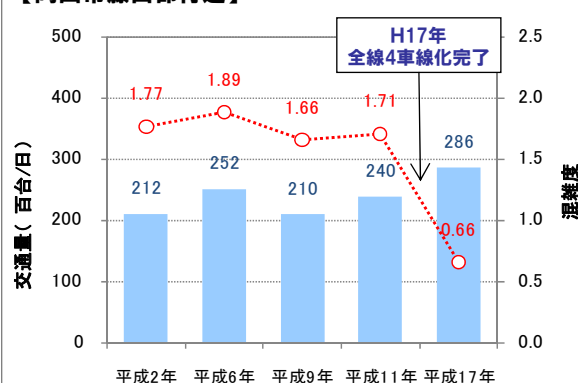


【写真②】

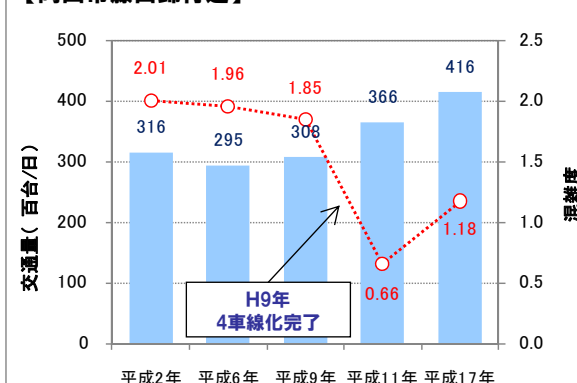
当新田交差点から玉野方面を望む
(上り車線)



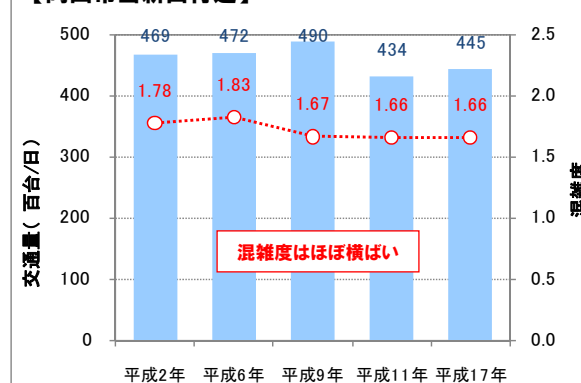
【岡山市藤田都付近】



【岡山市藤田錦付近】



【岡山市当新田付近】



資料/道路交通センサス

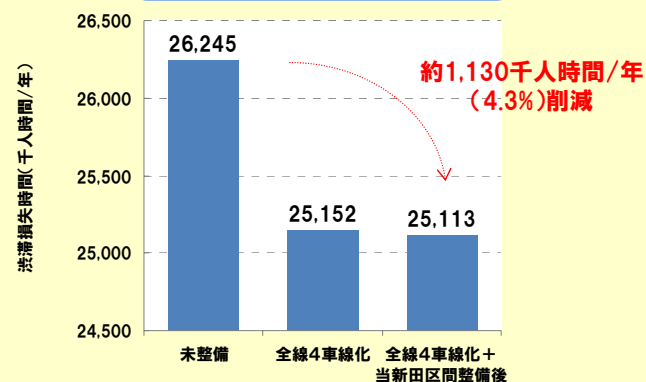
3. 地域から期待される道路の役割(効果) 一般国道30号 児島・玉野拡幅

<期待される道路の役割①> 損失時間の削減、環境負荷の低減

・児島・玉野拡幅により、損失時間の削減、沿道環境の改善が期待される。

▼期待される道路の役割(効果)

損失時間の削減量



※各時点の交通量配分結果をもとに、交通量・旅行速度を用いて算出
 ※損失時間算定式:客観的評価指標の定量的評価指標の算出方法(案)

※各指標算出対象範囲(損失時間、NOx、SPM、CO₂)は、費用便益分析対象範囲と同じ

▼環境への影響を考慮した効果(試算した参考値)

▶ 削減されるCO₂排出量:4.2(千トン/年)

▶ C(炭素)に換算した排出量:1.1(千トン/年)

▶ CO₂の排出量削減による効果
 1.1(千トン/年)×10,600円/トン・C=0.12億円/年

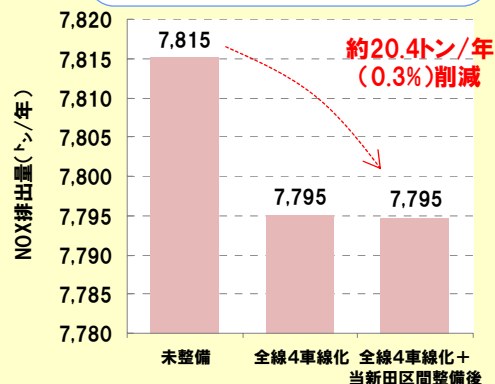
CO₂貨幣価値原単位10,600円/トン・C
 「公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針(共通編)平成20年6月 国土交通省」

▶ 50年の単純合計:5.6億円
 ▶ 基準年における現在価値: 2.3億円※

※は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

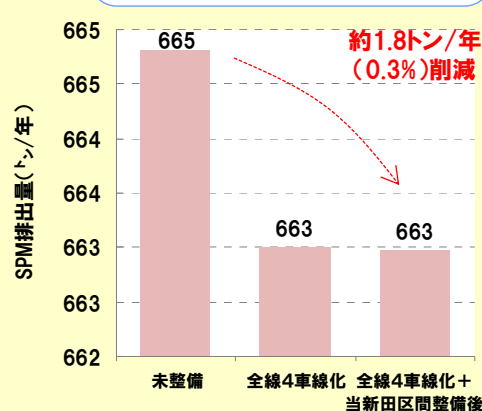
▼期待される道路の役割(効果)

NOx排出量

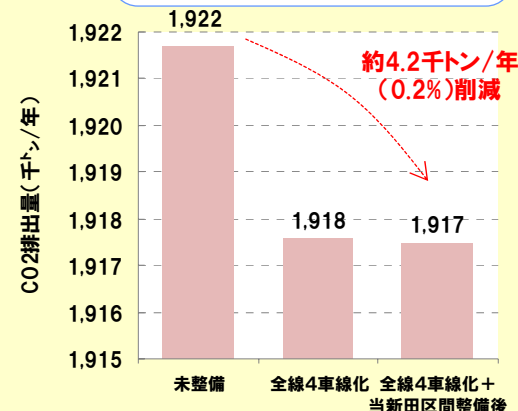


※各時点の交通量配分結果をもとに、交通量・旅行速度を用いて算出
 ※各排出量算定式:客観的評価指標の定量的評価指標の算出方法(案)

SPM排出量



CO₂排出量



3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道30号 児島・玉野拡幅

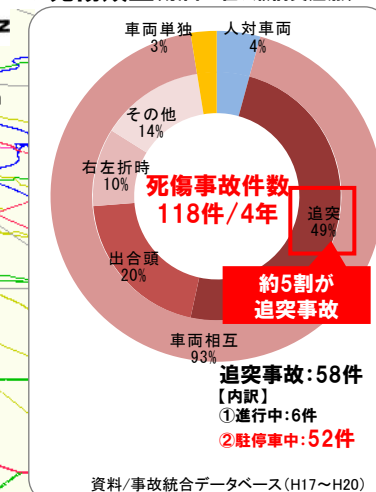
課題②岡山市当新田地区で多発する交通事故

- ・交差点が連続する当新田区間では、交差点の死傷事故率が高く、事故特性としては、停車中の車両への追突が多い。
- ・当新田区間の死傷事故率は約300件/億台キロ前後であり、全国平均を大きく上回っている。

▼国道30号の死傷事故率(死傷事故率3Dグラフ)

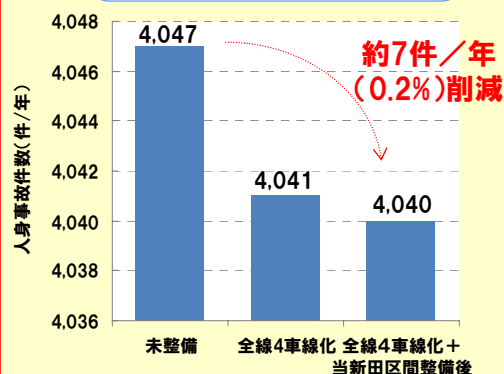


▼死傷類型(泉田~笹ヶ瀬橋交差点)



▼期待される道路の役割(効果)

死傷事故件数の削減量



※死傷事故率損失時間算出対象範囲は、費用便益分析対象範囲と同じ

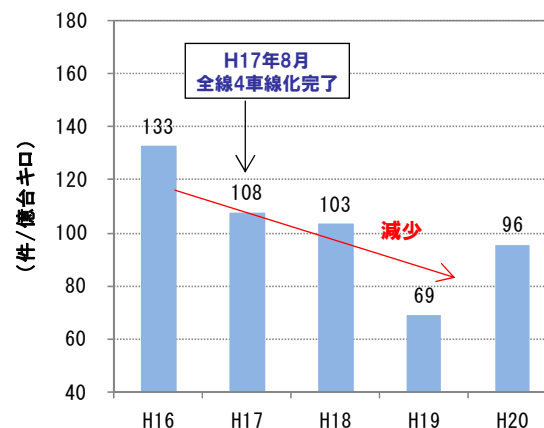
※各時点の交通量配分結果をもとに、交通量・旅行速度を用いて算出

※人身事故件数算定式: 交通事故減少便益の原単位の算出方法 (H20年11月 国土交通省)

▼死傷事故率の推移(整備済み区間の効果)

【整備済み(4車線化)区間】

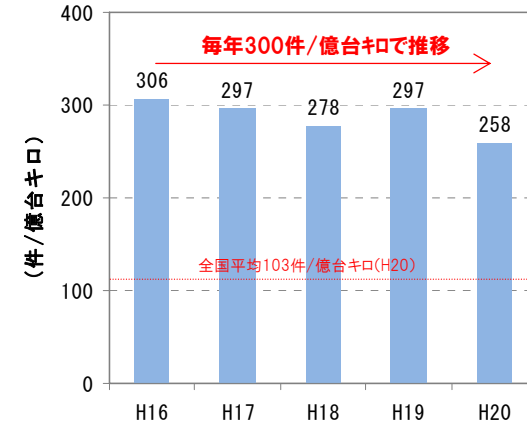
当新田区間を除く



▼死傷事故率の推移(事業中区間の現状)

【事業中(当新田)区間】

(泉田交差点~笹ヶ瀬橋交差点(L=0.7km))



3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道30号 児島・玉野拡幅

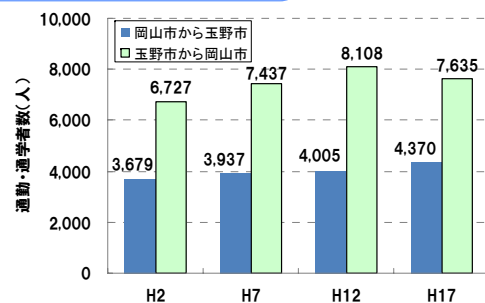
課題③ 通勤・通学のアクセス向上

- ・通勤・通学流動に関しては玉野市と岡山市との結びつきが強く、児島・玉野拡幅は両市間の円滑な移動を支援する。
- ・国道30号は、重要港湾である宇野港へのアクセス道路であり、宇野港の船舶乗降人員数は県内トップとなっている。

玉野市周辺の通勤・通学流動



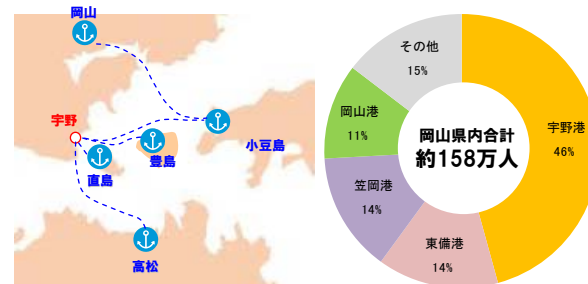
岡山市～玉野市の通勤・通学流動



宇野港へのアクセス性



▼宇野港を発着する主な航路 ▼岡山県管理港湾別乗降人員シェア



資料/みなとナビ 高松・宇野 資料/平成20年(2008年)岡山県の港湾統計データ

▼フェリーターミナル

岡山県と香川県を結ぶフェリーが昼夜絶え間なく100往復以上運航



▼期待される道路の役割(効果)



3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道30号 児島・玉野拡幅

課題④ 観光活性化・物流活動の支援による地域振興

- ・玉野市・渋川は、県内で2番目に来訪者が多く、岡山市中心部の観光施設とを結ぶ国道30号の役割は大きい。
- ・県内の主要港湾として水島港に次いで貨物量が多い宇野港へのアクセス性が向上し、円滑な物流活動を支援する。

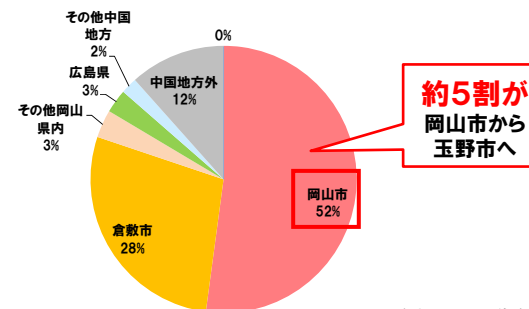
主要観光地へのアクセス性



資料：平成21年岡山県観光客動態調査報告書

(道の駅「みやま公園」については、玉野市「平成21年度 玉野市の概要」参考)

▼玉野市への観光目的流動 (玉野市外⇒玉野市)



資料：H17道路交通センサスOD

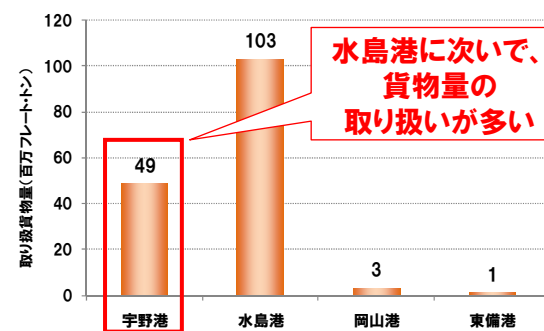
玉野市の主要産業と港湾の貨物

▼玉野市の主要産業

- ・玉野市及びその周辺は、造船関連企業が集積している。
- ・そこで製造されている船用ディーゼル機関は、H17年の累計生産量が国内の約1/3を占める。



▼岡山県の主要港湾の出入り貨物量(H20年度)



資料：平成20年(2008年)岡山県の港湾統計データ 岡山県

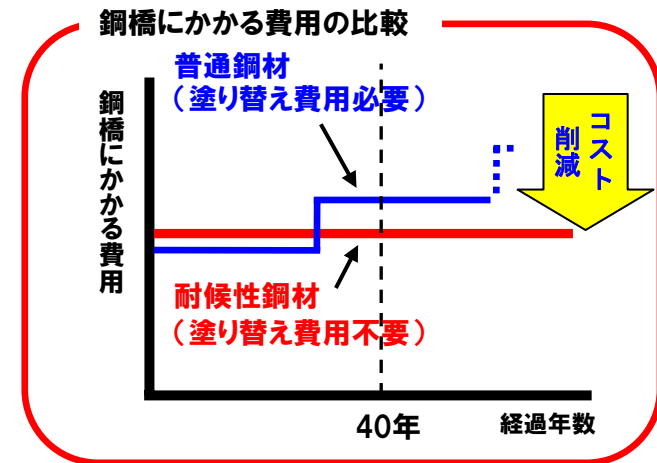
4. コスト縮減

一般国道30号 児島・玉野拡幅

- ・耐候性鋼材の使用及び中央分離帯の張りコンクリート化によりコスト縮減を図っている。

工事段階での工夫～耐候性鋼材の使用～＜縮減額0.4億円＞

- ・倉敷川の橋桁に耐候性鋼材を使用し、30年毎の塗り替え費用をなくし、維持管理コストの軽減化を図る。



※耐候性鋼材とは・・・

- ・大気環境においてさびの発生が少ない性質をもった鋼材を言います。
- ・初期には普通鋼材と同様のさびが発生しますが、年月の経過と共に極めて緻密で安定したさび（安定さびと呼びます）が形成され、それが保護被膜となりさびの進行を阻止します。

5. 事業の効果

一般国道30号 児島・玉野拡幅

・地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

▶ 3便益による費用便益比

(億円)

項 目	全体事業	残事業
費用 (C)	731	8.1
事業費	681	6.1
維持管理費	50	1.9
便益額 (B)	831	18
走行時間短縮便益	733	16
走行経費減少便益	53	1.2
交通事故減少便益	44	0.7
費用便益比	1.1	2.2

便益計測対象項目	内 容
走行時間短縮便益	道路整備により、周辺道路も含めた走行時間が短縮される効果を貨幣価値として計測する。
走行経費減少便益	道路整備によって混雑の緩和等走行条件が改善されることによる走行するために必要な費用の減少量として計測する。走行経費には燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両費、車両償却費等が含まれる。
交通事故減少便益	道路整備によって周辺道路の交通量が減少することに伴う交通事故による社会的損失の減少を貨幣価値として計測する。交通事故の社会的な損失には運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構造物に関する物的損害額、交通渋滞による損失額が含まれる。

▶ 道路の役割

▼道路の役割 (+α)

- ①環境への影響を考慮した効果[約4.2千トン／年のCO2削減]【+2.3億円】※
児島・玉野拡幅に伴う速度向上による環境（CO2）の改善効果を算定。
- ②通勤通学のアクセス向上
- ③観光活性化・物流支援による地域振興

※【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

	計画交通量	総事業費	総費用(C)	3便益(B)	費用対効果(B/C) ()内は残事業B/C
参考①(3便益)	16,500台／日～50,900台／日	357億円	731億円	831億円	1.1 (2.2)
参考②(その他の道路の役割を考慮)	16,500台／日～50,900台／日	357億円	731億円	831億円+α	—

※基準年：H22年

6. 今後の対応方針(原案)

一般国道30号 児島・玉野拡幅

1. 再評価の視点

①事業の必要性の視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

◇全線4車線化されたが周辺開発等により、岡山市当新田地区周辺は朝夕ピーク時に交通混雑の発生や、交通事故が多発している等、円滑な経済活動や物流活動に支障をきたしている。

2) 事業の効果

◇費用便益比(B/C)= 1.1 (事業全体) 2.2(残事業)

①環境への影響を考慮した効果[約4.2千トン/年のCO2削減]【+2.3億円】※

児島・玉野拡幅に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算定。

②交通事故件数の削減[国道30号の交通事故率: 7件(0.2%)削減]

③通勤通学のアクセス強化

④観光活性化・物流支援による地域振興

3) 事業の進捗状況

※【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

◇平成21年度末で用地買収については98%完了している。

②事業の進捗見込み

◇投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、残り約2年で完了予定である。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

◇耐候性鋼材の使用により、コスト縮減を図っている。

2. 県・市への意見照会結果

◇岡山県知事の意見: 一般国道30号 児島・玉野拡幅について、継続するとの対応方針(原案)案については異存ありません。

県都岡山市と港湾拠点である宇野港を有する玉野市の連携・アクセス強化、広域交流や地域活性化を図るためにも、本事業の早期完成が必要である。

◇岡山市長の意見: 一般国道30号 児島・玉野拡幅の再評価に係る対応方針(原案)案については異議ありません。

なお、当該路線が整備されることにより、港湾拠点と岡山都市圏との連携・アクセス強化、広域交流が促進され、地域の活性化に大きく寄与するものと期待しておりますので、計画通り平成24年度の事業完了に向けて整備促進が図られるよう要望します。

【今後の対応方針(原案)】

◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。

◇今後の事業の実施にあたっては、更なるコスト縮減に努力しつつ、効率的で効果的な事業を継続する。

◆前回評価時との比較

	前回評価時 (平成19年度)	今回評価時 (平成22年度)	備 考 (前回評価時からの変更点)
事業諸元	L=15.0km	L=15.0km	—
計画交通量	21,500台/日 ～52,000台/日	16,500台/日 ～50,900台/日	新たな交通需要推計(H20年度)による計画交通量の見直し
総事業費	約357億円	約357億円	—
総費用 (C)	677億円	731億円	「費用便益分析マニュアル」の改定等による変更 基準年の変更(H19基準からH22基準)
総便益 (B)	1357億円	831億円	新たな交通需要推計(H20年度)による計画交通量の見直し 「費用便益分析マニュアル」の改定等による変更
費用対効果 (B/C)	2.0	1.1	総費用及び総便益を見直したため

※費用/便益は基準年における現在価値の値

一般国道30号 児島・玉野拡幅
〔費用便益比（B／C）算定等資料〕

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道30号 児島・玉野拡幅
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比（B/C）＝1. 1 （経済的純現在価値（B－C）＝100億円、経済的内部収益率（EIRR）＝4. 4％） 残事業：費用便益比（B/C）＝2. 2 （経済的純現在価値（B－C）＝10億円、経済的内部収益率（EIRR）＝11. 8％）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 （対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について 渋滞損失時間（整備無）：26,245千人・時間/年 渋滞損失削減時間：1,132千人・時間/年（26,245千人・時間/年⇒25,113千人・時間/年）
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	岡山市泉田11.1km/h（平成17年道路交通センサス）（11.1km/h⇒29.5km/h）
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上で踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	岡山駅～大東間（上り：62便 下り：57便） 岡山駅～宇野駅間または経由（上り：96便 下り95便）
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	玉野市から岡山駅（新幹線駅）へのアクセスが向上（玉野市役所～岡山駅：71分～68分：約3分短縮）
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	玉野市から岡山空港（第三種空港）へのアクセスが向上 （玉野市役所～岡山空港：110分～107分：約3分短縮）
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	重要港湾 岡山市市街地（市役所）～宇野港へのアクセス向上 （岡山市役所～宇野港：70分～67分：約3分短縮）
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		■ 中心市街地内で行う事業である	DID区域内、都市計画区域内で行う事業
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発（300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上）への連絡道路となる	

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	☐ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		☐ 地域高規格道路の位置づけあり	
		☐ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	該当する日常活動圏中心都市：玉野市～岡山市（玉野市役所～岡山市役所：68分～65分）
		☐ 現道等における交通不能区間を解消する	
		☐ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	岡山市灘崎町（南区役所）から岡山市市街地（市役所）へのアクセス性が向上（岡山市灘崎町～岡山市役所：62分～59分）
	個性ある地域の形成	☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	宇野港再開発事業
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	玉野・渋川への入込み観光客数（H21）：213万人/年
		☐ 特別立法に基づく事業である	
		☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		☐ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		☐ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		☐ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できる暮らしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	玉野市方面から岡山市内に位置する三次医療施設（岡山赤十字病院）へのアクセス向上（玉野市役所～岡山赤十字病院：53分～50分）
3. 安全	安全な生活環境の確保	☐ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	当該区間交通量：33,300台/12h（当新田周辺区間） 当該区間歩行者交通量：250人/日（当新田周辺区間）

3. 安全	災害への備え	☐ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	第1次緊急輸送道路に指定
		☐ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		☐ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		☐ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		☐ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		☐ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		☐ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：約4.2千t/年 排出削減率：約0.2%削減（整備なし1,922千t/年、整備あり1,917千t/年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：無し NOxについて環境基準を達成している測定局数の実績：無し （推計結果） 評価対象区間：便益算定対象範囲 NOx排出削減量：約20.4t/年、排出削減率：約0.3%削減（整備なし7,815t/年⇒整備あり7,795t/年）
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：無し SPMについて環境基準を達成している測定局数の実績：無し （推計結果） 評価対象区間：便益算定対象範囲 SPM排出削減量：約1.8t/年、排出削減率：約0.3%削減（整備なし665t/年⇒整備あり663t/年）
		☐ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	☐ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		☐ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		☐ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道30号	児島・玉野拡幅	L= 15 km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
16,500～50,900	4	中国地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成22年度		
単純合計	346億円	95億円	442億円
うち残事業分	6.7億円	4.9億円	12億円
基準年における 現在価値 (C)	681億円	50億円	731億円
うち残事業分	6.1億円	1.9億円	8.1億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成22年度			
供 用 年	平成25年度			
単年便益 (初年便益)	29億円	2.1億円	1.8億円	33億円
基準年における 現在価値 (B)	733億円	53億円	44億円	831億円
うち残事業分	16億円	1.2億円	0.7億円	18億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.1
経済的純現在価値（事業全体）	100億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.4%
費用便益比（残事業）	2.2
経済的純現在価値（残事業）	10億円
経済的内部収益率（残事業）	11.8%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	16,500～50,900	± 1 0 %	2.0～2.5
事業費	7億円	± 1 0 %	2.0～2.4
事業期間	2年	± 2 0 %	2.2～2.2

交通状況の変化

様式－3①

事業名：児島・玉野拡幅（事業全体）

（推計時点 H42 年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路					
児島玉野拡幅		交通量※ ¹	[台/日]	21, 600	25, 400
延長：15. 0km		走行時間※ ²	[分]	26	23
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	101. 20	99. 22
②主な周辺道路※ ⁴	児島湾広域農道 ：8. 3km	交通量	[台/日]	8, 900	6, 800
		走行時間	[分]	15	14
		走行時間費用	[億円/年]	23. 44	17. 25
	国道2号 ：8. 9km	交通量	[台/日]	65, 300	64, 200
		走行時間	[分]	13	13
		走行時間費用	[億円/年]	147. 93	144. 56
	主) 岡山児島線 ：8. 1km	交通量	[台/日]	24, 100	22, 800
		走行時間	[分]	12	11
		走行時間費用	[億円/年]	49. 97	46. 86
	主) 岡山児島線（旧道） ：8. 6km	交通量	[台/日]	12, 500	11, 900
		走行時間	[分]	18	18
		走行時間費用	[億円/年]	35. 45	33. 49
	主) 岡山玉野線 ：7. 0km	交通量	[台/日]	9, 800	9, 300
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	19. 61	18. 38
③その他道路合計：1423. 5km		走行時間費用	[億円/年]	4, 137. 34	4, 126. 92

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1479. 7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4, 514. 94	4, 486. 68	28. 26

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

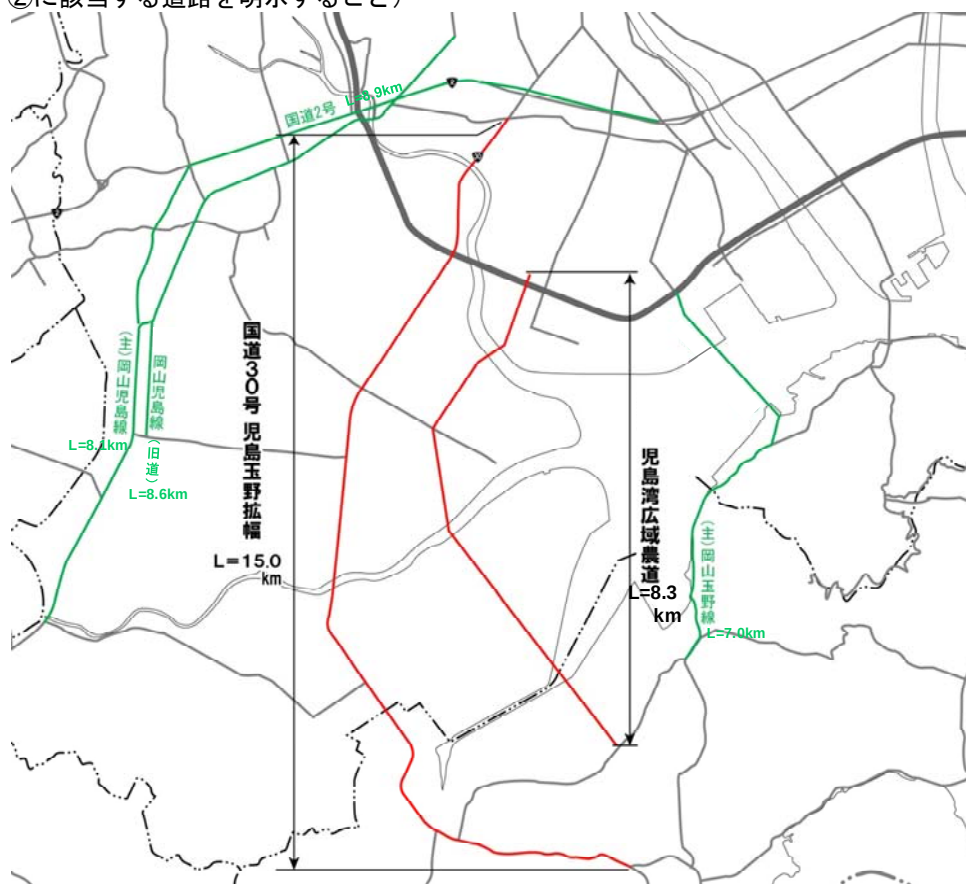
※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

事業名：児島玉野拡幅（事業全体）

（２） 図面（①、②）に該当する道路を明示すること）



交通状況の変化

様式－３①

事業名：児島・玉野拡幅（残事業）

（推計時点 H42 年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 児島玉野拡幅 延長：15.0km		交通量 ^{※1}	[台/日]	25,400	25,400
		走行時間 ^{※2}	[分]	23	23
		走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	100.05	99.22
②主な周辺道路 ^{※4}	児島湾広域農道 ：8.3km	交通量	[台/日]	6,800	6,800
		走行時間	[分]	14	14
		走行時間費用	[億円/年]	17.25	17.25
	国道2号 ：8.9km	交通量	[台/日]	64,200	64,200
		走行時間	[分]	13	13
		走行時間費用	[億円/年]	144.56	144.56
	主)岡山児島線 ：8.1km	交通量	[台/日]	22,800	22,800
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	46.86	46.86
	主)岡山児島線（旧道） ：8.6km	交通量	[台/日]	11,900	11,900
		走行時間	[分]	18	18
		走行時間費用	[億円/年]	33.49	33.49
	主)岡山玉野線 ：7.0km	交通量	[台/日]	9,300	9,300
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	18.38	18.38
③その他道路合計：1423.5km		走行時間費用	[億円/年]	4,126.92	4,126.92

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A－B)
合計：1479.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4,487.51	4,486.68	0.83

※１： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※２： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

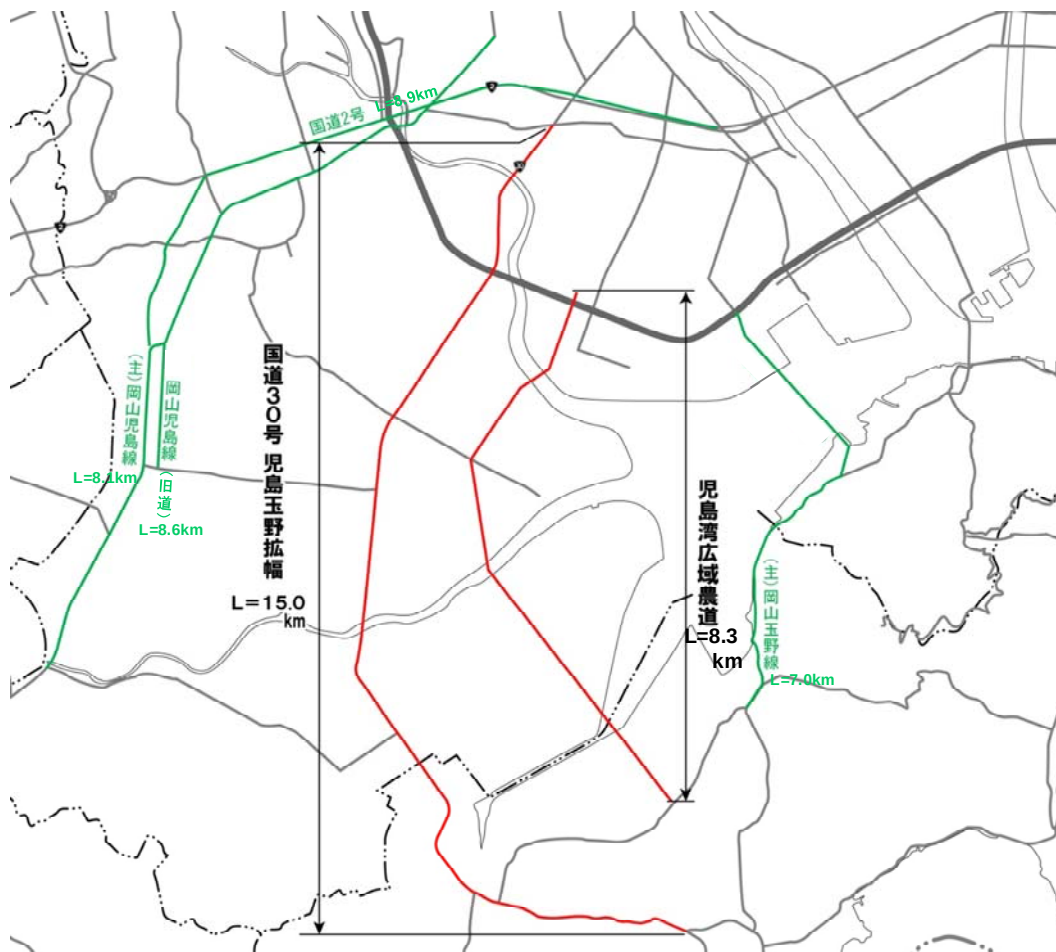
※３： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４： 当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

事業名：児島玉野拡幅（残事業）

（２） 図面（①、②）に該当する道路を明示すること）



費用便益分析の条件

事業名：児島・玉野拡幅

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	平成22年		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計 ☒ (H42)		
		複数時点での推計 ☐		
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
	推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H17センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐	
		その他()	☐	
	開発交通量の 考慮	無	☒	
		有	☐	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
	配分交通量の 推計手法	Q-V式を用いた配分	☐	
		転換率式を用いた配分	☐	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	☒	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	☐	
		簡易手法	☐	
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
			その他()	
			簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
	その他()	☐		
速度設定の 考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	☐		
	採用理由を記載			
	最終配分の速度	☐		
	採用理由を記載			
	その他(最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)	☒		

(3)

	項目	チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	☐
			対象路線のみ考慮	☐
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	☐
		冬期交通の影響	考慮しない	☒
	考慮する		☐	
	考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
			冬の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定		ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	☒
その他 ()		☐		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒		
	独自に設定した値を使用	☐		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒		
	独自に設定した値を使用	☐		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	☐		
	中央分離帯の有無を考慮しない	☒		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	☒		
	考慮する	☐		
その他				

(4)

[illegible]

費用の現在価値算定表

箇所名: 児島・玉野拡幅(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
						0.14	15.0
						2.10	
-36年目	S 45	4.8010	40.7	0.36	3.88		
-35年目	S 46	4.6164	42.6	1.84	18.19		
-34年目	S 47	4.4388	45.5	1.86	16.56		
-33年目	S 48	4.2681	52.4	1.02	7.58		
-32年目	S 49	4.1039	62.5	0.20	1.20		
-31年目	S 50	3.9461	66.1	0.11	0.60		
-30年目	S 51	3.7943	71.7	11.05	53.41		
-29年目	S 52	3.6484	76.0	9.90	43.39		
-28年目	S 53	3.5081	79.2	4.90	19.82		
-27年目	S 54	3.3731	81.3	8.00	30.32		
-26年目	S 55	3.2434	86.4	6.75	23.13		
-25年目	S 56	3.1187	88.6	7.10	22.82		
-24年目	S 57	2.9987	89.6	9.40	28.72		
-23年目	S 58	2.8834	90.5	6.43	18.70		
-22年目	S 59	2.7725	92.3	5.42	14.86		
-21年目	S 60	2.6658	93.0	6.80	17.80		
-20年目	S 61	2.5633	94.6	4.60	11.38		
-19年目	S 62	2.4647	94.4	7.10	16.92		
-18年目	S 63	2.3699	94.9	5.20	11.86		
-17年目	H 1	2.2788	97.4	4.94	10.55		
-16年目	H 2	2.1911	99.6	2.29	4.60		
-15年目	H 3	2.1068	102.0	2.20	4.15		
-14年目	H 4	2.0258	103.4	2.35	4.20		
-13年目	H 5	1.9479	103.7	4.49	7.70		
-12年目	H 6	1.8730	103.6	2.33	3.85		
-11年目	H 7	1.8009	103.0	3.51	5.60		
-10年目	H 8	1.7317	102.4	7.52	11.61		
-9年目	H 9	1.6651	103.4	1.81	2.66		
-8年目	H 10	1.6010	102.8	11.72	16.67		
-7年目	H 11	1.5395	101.3	23.84	33.08		
-6年目	H 12	1.4802	99.7	25.36	34.38		
-5年目	H 13	1.4233	98.4	28.02	37.00		
-4年目	H 14	1.3686	96.6	38.32	49.57		
-3年目	H 15	1.3159	95.4	27.96	35.21		
-2年目	H 16	1.2653	94.4	30.29	37.07		
-1年目	H 17	1.2167	93.2	13.17	15.70		
暫定供用開始	H 18	1.1699	92.5	0.40	0.46	1.91	2.20
1年目	H 19	1.1249	91.7	2.08	2.33	1.91	2.14
2年目	H 20	1.0816	91.3	2.25	2.43	1.91	2.06
3年目	H 21	1.0400	91.3	2.85	2.96	1.91	1.98
4年目	H 22	1.0000	91.3	3.88	3.88	1.91	1.91
5年目	H 23	0.9615	91.3	3.48	3.35	1.91	1.83
6年目	H 24	0.9246	91.3	3.20	2.96	1.91	1.76
供用開始年次	H 25	0.8890	91.3			1.91	1.70
8年目	H 26	0.8548	91.3			1.91	1.63
9年目	H 27	0.8219	91.3			1.91	1.57
10年目	H 28	0.7903	91.3			1.91	1.51
11年目	H 29	0.7599	91.3			1.91	1.45
12年目	H 30	0.7307	91.3			1.91	1.39
13年目	H 31	0.7026	91.3			1.91	1.34
14年目	H 32	0.6756	91.3			1.91	1.29
15年目	H 33	0.6496	91.3			1.91	1.24
16年目	H 34	0.6246	91.3			1.91	1.19
17年目	H 35	0.6006	91.3			1.91	1.15
18年目	H 36	0.5775	91.3			1.91	1.10
19年目	H 37	0.5553	91.3			1.91	1.06
20年目	H 38	0.5339	91.3			1.91	1.02
21年目	H 39	0.5134	91.3			1.91	0.98
22年目	H 40	0.4936	91.3			1.91	0.94
23年目	H 41	0.4746	91.3			1.91	0.90
24年目	H 42	0.4564	91.3			1.91	0.87
25年目	H 43	0.4388	91.3			1.91	0.84
26年目	H 44	0.4220	91.3			1.91	0.80
27年目	H 45	0.4057	91.3			1.91	0.77
28年目	H 46	0.3901	91.3			1.91	0.74
29年目	H 47	0.3751	91.3			1.91	0.72
30年目	H 48	0.3607	91.3			1.91	0.69
31年目	H 49	0.3468	91.3			1.91	0.66
32年目	H 50	0.3335	91.3			1.91	0.64
33年目	H 51	0.3207	91.3			1.91	0.61
34年目	H 52	0.3083	91.3			1.91	0.59
35年目	H 53	0.2965	91.3			1.91	0.57
36年目	H 54	0.2851	91.3			1.91	0.54
37年目	H 55	0.2741	91.3			1.91	0.52
38年目	H 56	0.2636	91.3			1.91	0.50
39年目	H 57	0.2534	91.3			1.91	0.48
40年目	H 58	0.2437	91.3			1.91	0.46
41年目	H 59	0.2343	91.3			1.91	0.45
42年目	H 60	0.2253	91.3			1.91	0.43
43年目	H 61	0.2166	91.3			1.91	0.41
44年目	H 62	0.2083	91.3			1.91	0.40
45年目	H 63	0.2003	91.3			1.91	0.38
46年目	H 64	0.1926	91.3			1.91	0.37
47年目	H 65	0.1852	91.3			1.91	0.35
48年目	H 66	0.1780	91.3			1.91	0.34
49年目	H 67	0.1712	91.3	-71.43	-12.23	1.91	0.33
合 計				274.87	680.89	95.33	49.80
単純事業費計				346.30		95.33	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

					維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)		
箇所名: 児島・玉野拡幅(残事業)					単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
					0.14	0.7	0.10
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)	維持管理費(億円)		
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-2年目	H 23	0.9615	91.3	3.48	3.35		
-1年目	H 24	0.9246	91.3	3.20	2.96		
供用開始年次	H 25	0.8890	91.3			0.10	0.09
1年目	H 26	0.8548	91.3			0.10	0.08
2年目	H 27	0.8219	91.3			0.10	0.08
3年目	H 28	0.7903	91.3			0.10	0.08
4年目	H 29	0.7599	91.3			0.10	0.07
5年目	H 30	0.7307	91.3			0.10	0.07
6年目	H 31	0.7026	91.3			0.10	0.07
7年目	H 32	0.6756	91.3			0.10	0.07
8年目	H 33	0.6496	91.3			0.10	0.06
9年目	H 34	0.6246	91.3			0.10	0.06
10年目	H 35	0.6006	91.3			0.10	0.06
11年目	H 36	0.5775	91.3			0.10	0.06
12年目	H 37	0.5553	91.3			0.10	0.05
13年目	H 38	0.5339	91.3			0.10	0.05
14年目	H 39	0.5134	91.3			0.10	0.05
15年目	H 40	0.4936	91.3			0.10	0.05
16年目	H 41	0.4746	91.3			0.10	0.05
17年目	H 42	0.4564	91.3			0.10	0.04
18年目	H 43	0.4388	91.3			0.10	0.04
19年目	H 44	0.4220	91.3			0.10	0.04
20年目	H 45	0.4057	91.3			0.10	0.04
21年目	H 46	0.3901	91.3			0.10	0.04
22年目	H 47	0.3751	91.3			0.10	0.04
23年目	H 48	0.3607	91.3			0.10	0.04
24年目	H 49	0.3468	91.3			0.10	0.03
25年目	H 50	0.3335	91.3			0.10	0.03
26年目	H 51	0.3207	91.3			0.10	0.03
27年目	H 52	0.3083	91.3			0.10	0.03
28年目	H 53	0.2965	91.3			0.10	0.03
29年目	H 54	0.2851	91.3			0.10	0.03
30年目	H 55	0.2741	91.3			0.10	0.03
31年目	H 56	0.2636	91.3			0.10	0.03
32年目	H 57	0.2534	91.3			0.10	0.02
33年目	H 58	0.2437	91.3			0.10	0.02
34年目	H 59	0.2343	91.3			0.10	0.02
35年目	H 60	0.2253	91.3			0.10	0.02
36年目	H 61	0.2166	91.3			0.10	0.02
37年目	H 62	0.2083	91.3			0.10	0.02
38年目	H 63	0.2003	91.3			0.10	0.02
39年目	H 64	0.1926	91.3			0.10	0.02
40年目	H 65	0.1852	91.3			0.10	0.02
41年目	H 66	0.1780	91.3			0.10	0.02
42年目	H 67	0.1712	91.3			0.10	0.02
43年目	H 68	0.1646	91.3			0.10	0.02
44年目	H 69	0.1583	91.3			0.10	0.02
45年目	H 70	0.1522	91.3			0.10	0.01
46年目	H 71	0.1463	91.3			0.10	0.01
47年目	H 72	0.1407	91.3			0.10	0.01
48年目	H 73	0.1353	91.3			0.10	0.01
49年目	H 74	0.1301	91.3	-1.23	-0.16	0.10	0.01
合 計				5.45	6.14	4.90	1.95
単純事業費計				6.68		4.90	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：児島・玉野拡幅(事業全体)

年次	年度 (基準年) H22	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽ブロック)			割戻率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	貨物車類	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 18	0.99808	0.99760	0.99792	1.1699	92.5	19.85	3.98	5.04	28.87	33.78	1.20	0.17	0.72	2.10	2.45	1.79	2.09	32.76	38.32
1年目	H 19	0.99807	0.99760	0.99792	1.1249	91.7	19.82	3.97	5.03	28.81	32.41	1.20	0.17	0.72	2.09	2.35	1.78	2.00	32.69	36.77
2年目	H 20	0.99807	0.99759	0.99792	1.0816	91.3	19.78	3.96	5.02	28.75	31.10	1.20	0.17	0.72	2.09	2.26	1.78	1.92	32.62	35.28
3年目	H 21	0.99806	0.99759	0.99791	1.0400	91.3	19.74	3.95	5.01	28.69	29.84	1.19	0.17	0.72	2.08	2.17	1.77	1.85	32.55	33.85
4年目	H 22	0.99806	0.99758	0.99791	1.0000	91.3	19.70	3.94	4.99	28.63	28.63	1.19	0.17	0.72	2.08	2.08	1.77	1.77	32.48	32.48
5年目	H 23	0.99806	0.99757	0.99790	0.9615	91.3	19.66	3.93	4.98	28.57	27.47	1.19	0.17	0.71	2.08	2.00	1.77	1.70	32.41	31.17
6年目	H 24	0.99805	0.99757	0.99790	0.9246	91.3	19.62	3.92	4.97	28.51	26.36	1.19	0.17	0.71	2.07	1.91	1.76	1.63	32.35	29.91
7年目	H 25	0.99805	0.99756	0.99789	0.8890	91.3	20.25	4.02	5.05	29.31	26.06	1.23	0.18	0.72	2.13	1.89	1.76	1.56	33.20	29.52
8年目	H 26	0.99805	0.99756	0.99789	0.8548	91.3	20.21	4.01	5.03	29.25	25.01	1.23	0.18	0.72	2.12	1.82	1.76	1.50	33.13	28.32
9年目	H 27	0.99804	0.99755	0.99788	0.8219	91.3	20.17	4.00	5.02	29.19	23.99	1.22	0.18	0.72	2.12	1.74	1.75	1.44	33.06	27.18
10年目	H 28	0.99804	0.99754	0.99788	0.7903	91.3	20.13	3.99	5.01	29.13	23.02	1.22	0.17	0.72	2.11	1.67	1.75	1.38	32.99	26.07
11年目	H 29	0.99803	0.99754	0.99788	0.7599	91.3	20.09	3.98	5.00	29.07	22.09	1.22	0.17	0.72	2.11	1.60	1.74	1.33	32.92	25.02
12年目	H 30	0.99803	0.99753	0.99787	0.7307	91.3	20.05	3.97	4.99	29.01	21.19	1.22	0.17	0.71	2.11	1.54	1.74	1.27	32.85	24.00
13年目	H 31	0.99803	0.99753	0.99787	0.7026	91.3	20.01	3.96	4.97	28.94	20.34	1.21	0.17	0.71	2.10	1.48	1.74	1.22	32.78	23.03
14年目	H 32	0.99802	0.99752	0.99786	0.6756	91.3	19.97	3.95	4.96	28.88	19.51	1.21	0.17	0.71	2.10	1.42	1.73	1.17	32.71	22.10
15年目	H 33	0.99742	0.99874	0.99785	0.6496	91.3	19.92	3.95	4.95	28.82	18.72	1.21	0.17	0.71	2.09	1.36	1.73	1.12	32.64	21.20
16年目	H 34	0.99742	0.99874	0.99784	0.6246	91.3	19.87	3.94	4.95	28.76	17.96	1.21	0.17	0.71	2.09	1.30	1.73	1.08	32.57	20.34
17年目	H 35	0.99741	0.99874	0.99784	0.6006	91.3	19.82	3.94	4.94	28.69	17.23	1.20	0.17	0.71	2.08	1.25	1.72	1.03	32.50	19.52
18年目	H 36	0.99740	0.99874	0.99783	0.5775	91.3	19.76	3.93	4.94	28.63	16.53	1.20	0.17	0.71	2.08	1.20	1.72	0.99	32.43	18.73
19年目	H 37	0.99740	0.99874	0.99783	0.5553	91.3	19.71	3.93	4.93	28.57	15.86	1.20	0.17	0.71	2.08	1.15	1.71	0.95	32.36	17.97
20年目	H 38	0.99739	0.99873	0.99782	0.5339	91.3	19.66	3.92	4.92	28.51	15.22	1.19	0.17	0.71	2.07	1.11	1.71	0.91	32.29	17.24
21年目	H 39	0.99738	0.99873	0.99782	0.5134	91.3	19.61	3.92	4.92	28.44	14.60	1.19	0.17	0.70	2.07	1.06	1.71	0.88	32.22	16.54
22年目	H 40	0.99738	0.99873	0.99781	0.4936	91.3	19.56	3.91	4.91	28.38	14.01	1.19	0.17	0.70	2.06	1.02	1.70	0.84	32.15	15.87
23年目	H 41	0.99737	0.99873	0.99781	0.4746	91.3	19.51	3.91	4.90	28.32	13.44	1.18	0.17	0.70	2.06	0.98	1.70	0.81	32.08	15.22
24年目	H 42	0.99736	0.99873	0.99780	0.4564	91.3	19.46	3.90	4.90	28.26	12.90	1.18	0.17	0.70	2.05	0.94	1.70	0.77	32.01	14.61
25年目	H 43	0.98994	0.99905	0.99288	0.4388	91.3	19.26	3.90	4.89	28.05	12.31	1.17	0.17	0.70	2.04	0.90	1.68	0.74	31.78	13.94
26年目	H 44	0.98984	0.99905	0.99283	0.4220	91.3	19.06	3.90	4.89	27.85	11.75	1.16	0.17	0.70	2.03	0.86	1.67	0.71	31.55	13.31
27年目	H 45	0.98973	0.99905	0.99278	0.4057	91.3	18.87	3.89	4.88	27.64	11.22	1.15	0.17	0.70	2.02	0.82	1.66	0.67	31.32	12.71
28年目	H 46	0.98963	0.99905	0.99273	0.3901	91.3	18.67	3.89	4.88	27.44	10.70	1.13	0.17	0.70	2.00	0.78	1.65	0.64	31.09	12.13
29年目	H 47	0.98952	0.99905	0.99267	0.3751	91.3	18.48	3.88	4.87	27.24	10.22	1.12	0.17	0.70	1.99	0.75	1.64	0.61	30.86	11.58
30年目	H 48	0.98941	0.99905	0.99262	0.3607	91.3	18.28	3.88	4.87	27.03	9.75	1.11	0.17	0.70	1.98	0.71	1.62	0.59	30.63	11.05
31年目	H 49	0.98929	0.99904	0.99256	0.3468	91.3	18.09	3.88	4.87	26.83	9.30	1.10	0.17	0.70	1.97	0.68	1.61	0.56	30.40	10.54
32年目	H 50	0.98918	0.99904	0.99251	0.3335	91.3	17.89	3.87	4.86	26.62	8.88	1.09	0.17	0.70	1.95	0.65	1.60	0.53	30.18	10.06
33年目	H 51	0.98906	0.99904	0.99245	0.3207	91.3	17.69	3.87	4.86	26.42	8.47	1.07	0.17	0.70	1.94	0.62	1.59	0.51	29.95	9.60
34年目	H 52	0.98894	0.99904	0.99239	0.3083	91.3	17.50	3.87	4.85	26.22	8.08	1.06	0.17	0.70	1.93	0.59	1.58	0.49	29.72	9.16
35年目	H 53	0.98881	0.99904	0.99234	0.2965	91.3	17.30	3.86	4.85	26.01	7.71	1.05	0.17	0.69	1.91	0.57	1.56	0.46	29.49	8.74
36年目	H 54	0.98869	0.99904	0.99228	0.2851	91.3	17.11	3.86	4.84	25.81	7.36	1.04	0.17	0.69	1.90	0.54	1.55	0.44	29.26	8.34
37年目	H 55	0.98856	0.99904	0.99222	0.2741	91.3	16.91	3.85	4.84	25.60	7.02	1.03	0.17	0.69	1.89	0.52	1.54	0.42	29.03	7.96
38年目	H 56	0.98842	0.99904	0.99216	0.2636	91.3	16.71	3.85	4.83	25.40	6.69	1.01	0.17	0.69	1.88	0.49	1.53	0.40	28.80	7.59
39年目	H 57	0.98829	0.99904	0.99209	0.2534	91.3	16.52	3.85	4.83	25.19	6.38	1.00	0.17	0.69	1.86	0.47	1.51	0.38	28.57	7.24
40年目	H 58	0.98815	0.99904	0.99203	0.2437	91.3	16.32	3.84	4.82	24.99	6.09	0.99	0.17	0.69	1.85	0.45	1.50	0.37	28.34	6.91
41年目	H 59	0.98801	0.99904	0.99197	0.2343	91.3	16.13	3.84	4.82	24.79	5.81	0.98	0.17	0.69	1.84	0.43	1.49	0.35	28.12	6.59
42年目	H 60	0.98786	0.99903	0.99190	0.2253	91.3	15.93	3.84	4.81	24.58	5.54	0.97	0.17	0.69	1.83	0.41	1.48	0.33	27.89	6.28
43年目	H 61	0.98771	0.99903	0.99184	0.2166	91.3	15.74	3.83	4.81	24.38	5.28	0.96	0.17	0.69	1.81	0.39	1.47	0.32	27.66	5.99
44年目	H 62	0.98756	0.99903	0.99177	0.2083	91.3	15.54	3.83	4.80	24.17	5.04	0.94	0.17	0.69	1.80	0.37	1.45	0.30	27.43	5.71
45年目	H 63	0.98740	0.99903	0.99170	0.2003	91.3	15.34	3.83	4.80	23.97	4.80	0.93	0.17	0.69	1.79	0.36	1.44	0.29	27.20	5.45
46年目	H 64	0.98724	0.99903	0.99163	0.1926	91.3	15.15	3.82	4.80	23.77	4.58	0.92	0.17	0.69	1.77	0.34	1.43	0.28	26.97	5.19
47年目	H 65	0.98708	0.99903	0.99156	0.1852	91.3	14.95	3.82	4.79	23.56	4.36	0.91	0.17	0.69	1.76	0.33	1.42	0.26	26.74	4.95
48年目	H 66	0.98691	0.99903	0.99149	0.1780	91.3	14.76	3.81	4.79	23.36	4.16	0.90	0.17	0.69	1.75	0.31	1.41	0.25	26.51	4.72
49年目	H 67	0.98673	0.99903	0.99142	0.1712	91.3	14.56	3.81	4.78	23.15	3.96	0.88	0.17	0.69	1.74	0.30	1.39	0.24	26.28	4.50
合 計							918.67	195.15	245.27	1,359.09	732.75	55.73	8.55	35.16	99.44	53.40	81.99	44.37	1,540.53	830.52

便益の現在価値算定表

箇所名：児島・玉野拡幅(残事業)

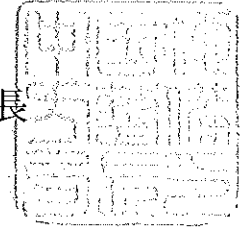
年次	年度 (基準年) H22	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽ブロック)			割戻率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	貨物車類	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 25	0.99805	0.99756	0.99789	0.8890	91.3	0.66	0.11	0.09	0.86	0.77	0.04	0.01	0.01	0.06	0.06	0.04	0.03	0.96	0.85
1年目	H 26	0.99805	0.99756	0.99789	0.8548	91.3	0.66	0.11	0.09	0.86	0.74	0.04	0.01	0.01	0.06	0.05	0.04	0.03	0.96	0.82
2年目	H 27	0.99804	0.99755	0.99788	0.8219	91.3	0.66	0.11	0.09	0.86	0.71	0.04	0.01	0.01	0.06	0.05	0.04	0.03	0.96	0.79
3年目	H 28	0.99804	0.99754	0.99788	0.7903	91.3	0.66	0.11	0.09	0.86	0.68	0.04	0.01	0.01	0.06	0.05	0.04	0.03	0.95	0.75
4年目	H 29	0.99803	0.99754	0.99788	0.7599	91.3	0.65	0.11	0.09	0.85	0.65	0.04	0.01	0.01	0.06	0.05	0.03	0.03	0.95	0.72
5年目	H 30	0.99803	0.99753	0.99787	0.7307	91.3	0.65	0.11	0.09	0.85	0.62	0.04	0.01	0.01	0.06	0.05	0.03	0.03	0.95	0.69
6年目	H 31	0.99803	0.99753	0.99787	0.7026	91.3	0.65	0.11	0.09	0.85	0.60	0.04	0.01	0.01	0.06	0.04	0.03	0.02	0.95	0.67
7年目	H 32	0.99802	0.99752	0.99786	0.6756	91.3	0.65	0.11	0.09	0.85	0.57	0.04	0.01	0.01	0.06	0.04	0.03	0.02	0.95	0.64
8年目	H 33	0.99742	0.99874	0.99785	0.6496	91.3	0.65	0.11	0.09	0.85	0.55	0.04	0.01	0.01	0.06	0.04	0.03	0.02	0.94	0.61
9年目	H 34	0.99742	0.99874	0.99784	0.6246	91.3	0.65	0.11	0.09	0.85	0.53	0.04	0.01	0.01	0.06	0.04	0.03	0.02	0.94	0.59
10年目	H 35	0.99741	0.99874	0.99784	0.6006	91.3	0.65	0.11	0.09	0.84	0.51	0.04	0.01	0.01	0.06	0.04	0.03	0.02	0.94	0.56
11年目	H 36	0.99740	0.99874	0.99783	0.5775	91.3	0.64	0.11	0.09	0.84	0.49	0.04	0.01	0.01	0.06	0.04	0.03	0.02	0.94	0.54
12年目	H 37	0.99740	0.99874	0.99783	0.5553	91.3	0.64	0.11	0.09	0.84	0.47	0.04	0.01	0.01	0.06	0.03	0.03	0.02	0.93	0.52
13年目	H 38	0.99739	0.99873	0.99782	0.5339	91.3	0.64	0.11	0.09	0.84	0.45	0.04	0.01	0.01	0.06	0.03	0.03	0.02	0.93	0.50
14年目	H 39	0.99738	0.99873	0.99782	0.5134	91.3	0.64	0.11	0.09	0.84	0.43	0.04	0.01	0.01	0.06	0.03	0.03	0.02	0.93	0.48
15年目	H 40	0.99738	0.99873	0.99781	0.4936	91.3	0.64	0.11	0.09	0.83	0.41	0.04	0.01	0.01	0.06	0.03	0.03	0.02	0.93	0.46
16年目	H 41	0.99737	0.99873	0.99781	0.4746	91.3	0.64	0.11	0.09	0.83	0.39	0.04	0.01	0.01	0.06	0.03	0.03	0.02	0.93	0.44
17年目	H 42	0.99736	0.99873	0.99780	0.4564	91.3	0.63	0.11	0.09	0.83	0.38	0.04	0.01	0.01	0.06	0.03	0.03	0.02	0.92	0.42
18年目	H 43	0.98994	0.99905	0.99288	0.4388	91.3	0.63	0.11	0.09	0.82	0.36	0.04	0.00	0.01	0.06	0.03	0.03	0.01	0.92	0.40
19年目	H 44	0.98984	0.99905	0.99283	0.4220	91.3	0.62	0.11	0.09	0.82	0.34	0.04	0.00	0.01	0.06	0.02	0.03	0.01	0.91	0.38
20年目	H 45	0.98973	0.99905	0.99278	0.4057	91.3	0.61	0.11	0.09	0.81	0.33	0.04	0.00	0.01	0.06	0.02	0.03	0.01	0.90	0.37
21年目	H 46	0.98963	0.99905	0.99273	0.3901	91.3	0.61	0.11	0.09	0.80	0.31	0.04	0.00	0.01	0.06	0.02	0.03	0.01	0.89	0.35
22年目	H 47	0.98952	0.99905	0.99267	0.3751	91.3	0.60	0.11	0.09	0.80	0.30	0.04	0.00	0.01	0.06	0.02	0.03	0.01	0.89	0.33
23年目	H 48	0.98941	0.99905	0.99262	0.3607	91.3	0.60	0.11	0.09	0.79	0.29	0.04	0.00	0.01	0.06	0.02	0.03	0.01	0.88	0.32
24年目	H 49	0.98929	0.99904	0.99256	0.3468	91.3	0.59	0.11	0.09	0.78	0.27	0.04	0.00	0.01	0.06	0.02	0.03	0.01	0.87	0.30
25年目	H 50	0.98918	0.99904	0.99251	0.3335	91.3	0.58	0.11	0.09	0.78	0.26	0.04	0.00	0.01	0.06	0.02	0.03	0.01	0.87	0.29
26年目	H 51	0.98906	0.99904	0.99245	0.3207	91.3	0.58	0.11	0.09	0.77	0.25	0.04	0.00	0.01	0.06	0.02	0.03	0.01	0.86	0.28
27年目	H 52	0.98894	0.99904	0.99239	0.3083	91.3	0.57	0.11	0.09	0.76	0.24	0.04	0.00	0.01	0.06	0.02	0.03	0.01	0.85	0.26
28年目	H 53	0.98881	0.99904	0.99234	0.2965	91.3	0.56	0.11	0.09	0.76	0.22	0.04	0.00	0.01	0.06	0.02	0.03	0.01	0.84	0.25
29年目	H 54	0.98869	0.99904	0.99228	0.2851	91.3	0.56	0.11	0.09	0.75	0.21	0.04	0.00	0.01	0.05	0.02	0.03	0.01	0.84	0.24
30年目	H 55	0.98856	0.99904	0.99222	0.2741	91.3	0.55	0.11	0.09	0.74	0.20	0.04	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.01	0.83	0.23
31年目	H 56	0.98842	0.99904	0.99216	0.2636	91.3	0.54	0.11	0.09	0.74	0.19	0.04	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.01	0.82	0.22
32年目	H 57	0.98829	0.99904	0.99209	0.2534	91.3	0.54	0.11	0.09	0.73	0.19	0.04	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.01	0.82	0.21
33年目	H 58	0.98815	0.99904	0.99203	0.2437	91.3	0.53	0.11	0.09	0.72	0.18	0.04	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.01	0.81	0.20
34年目	H 59	0.98801	0.99904	0.99197	0.2343	91.3	0.53	0.11	0.09	0.72	0.17	0.04	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.01	0.80	0.19
35年目	H 60	0.98786	0.99903	0.99190	0.2253	91.3	0.52	0.11	0.09	0.71	0.16	0.04	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.01	0.79	0.18
36年目	H 61	0.98771	0.99903	0.99184	0.2166	91.3	0.51	0.11	0.09	0.71	0.15	0.03	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.01	0.79	0.17
37年目	H 62	0.98756	0.99903	0.99177	0.2083	91.3	0.51	0.11	0.09	0.70	0.15	0.03	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.01	0.78	0.16
38年目	H 63	0.98740	0.99903	0.99170	0.2003	91.3	0.50	0.11	0.09	0.69	0.14	0.03	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.01	0.77	0.15
39年目	H 64	0.98724	0.99903	0.99163	0.1926	91.3	0.49	0.11	0.09	0.69	0.13	0.03	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.01	0.76	0.15
40年目	H 65	0.98708	0.99903	0.99156	0.1852	91.3	0.49	0.11	0.09	0.68	0.13	0.03	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.01	0.76	0.14
41年目	H 66	0.98691	0.99903	0.99149	0.1780	91.3	0.48	0.11	0.09	0.67	0.12	0.03	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.01	0.75	0.13
42年目	H 67	0.98673	0.99903	0.99142	0.1712	91.3	0.47	0.11	0.08	0.67	0.11	0.03	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.00	0.74	0.13
43年目	H 68	0.98656	0.99903	0.99134	0.1646	91.3	0.47	0.11	0.08	0.66	0.11	0.03	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.00	0.74	0.12
44年目	H 69	0.98637	0.99903	0.99127	0.1583	91.3	0.46	0.11	0.08	0.65	0.10	0.03	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.00	0.73	0.12
45年目	H 70	0.98619	0.99903	0.99119	0.1522	91.3	0.46	0.11	0.08	0.65	0.10	0.03	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.00	0.72	0.11
46年目	H 71	0.98599	0.99902	0.99111	0.1463	91.3	0.45	0.11	0.08	0.64	0.09	0.03	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.00	0.71	0.10
47年目	H 72	0.98579	0.99902	0.99103	0.1407	91.3	0.44	0.11	0.08	0.63	0.09	0.03	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.00	0.71	0.10
48年目	H 73	0.98559	0.99902	0.99095	0.1353	91.3	0.44	0.11	0.08	0.63	0.08	0.03	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.00	0.70	0.09
49年目	H 74	0.98538	0.99902	0.99087	0.1301	91.3	0.43	0.11	0.08	0.62	0.08	0.03	0.00	0.01	0.05	0.01	0.03	0.00	0.69	0.09
合 計							28.58	5.42	4.33	38.32	15.99	1.94	0.25	0.60	2.78	1.16	1.58	0.66	42.69	17.80

一般国道30号 児島・玉野拡幅
〔岡山県への意見照会と回答〕

国中整企画第36号
国中整港計第19号
平成22年10月5日

岡山県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成22年10月26日(火)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成22年10月15日(金)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

中国地方整備局 企画部 企画課

課長補佐 浜崎

教習係長 木本

電話：082-221-9231

FAX：082-227-2651

(別紙)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道30号 児島・玉野拡幅	継続	
一般国道53号 津山南道路	継続	

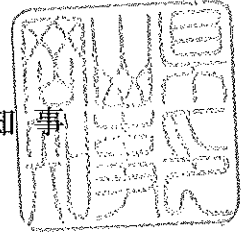
※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針（原案）を作成するためのものです。

技 第 180 号

平成22年10月15日

中国地方整備局長 様

岡山県知事



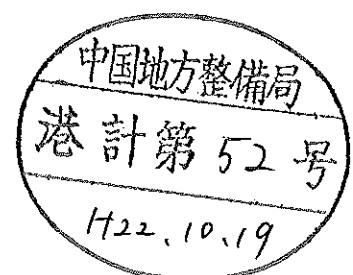
中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成
に係る意見照会について（回答）

平成22年10月5日付け国中整企画第36号及び国中整港計第19号で照会のあった下記事業について、継続するとの対応方針（原案）案については異存ありません。

なお、個別の事業についての意見は別紙のとおりです。

記

- ・一般国道30号 児島・玉野拡幅
- ・一般国道53号 津山南道路



(別紙)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）案に対する意見

【道路事業】

事業名	一般国道30号 児島・玉野拡幅
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である
(意見) 県都岡山市と港湾拠点である宇野港を有する玉野市の連携・アクセス強化、広域交流や地域活性化を図るためにも、本事業の早期完成が必要である。	

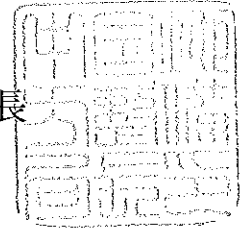
事業名	一般国道53号 津山南道路
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である
(意見) 広域交流拠点である岡山空港及び県南部都市圏と津山市を中心とした津山圏域を連絡する空港津山道路の一部であり、両圏域を連絡する地域ネットワークを形成するためにも、本事業の早期完成が必要である。	

一般国道30号 児島・玉野拡幅
〔岡山市への意見照会と回答〕

国中整企画第36号
国中整港計第19号
平成22年10月5日

岡山市長 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成22年10月26日（火）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成22年10月15日（金）までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

中国地方整備局 企画部 企画課

課長補佐 浜崎

教習係長 木本

電話：082-221-9231

FAX：082-227-2651

(別紙)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道30号 児島・玉野拡幅	継続	

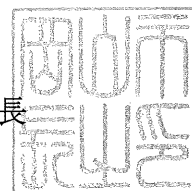
※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針（原案）を作成するためのものです。



岡道計第168号
平成22年10月8日

中国地方整備局長 殿

岡山市長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

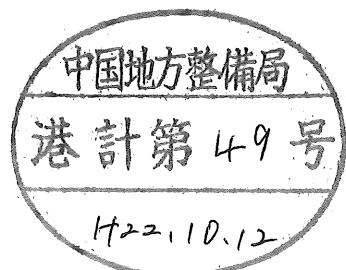
貴職におかれましては、平素より岡山市の土木行政に対する御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成22年10月5日付け国中整企画第36号、国中整港計第19号で照会のありました、一般国道30号児島・玉野拡幅の再評価に係る対応方針（原案）案に対する意見について、下記のとおり回答します。

記

1 意見 異議ありません。

なお、当該路線が整備されることにより、港湾拠点と岡山都市圏との連携・アクセス強化、広域交流が促進され、地域の活性化に大きく寄与するものと期待しておりますので、計画通り平成24年度の事業完了に向けて整備促進が図られるよう要望します。



（問い合わせ先）

岡山市都市整備局道路計画課 課長 小野正勝

電話 086-803-1695

FAX 086-803-1727